

兄弟、眼前の利害と勝敗を度外にして戦つて呉れ

兄弟、しつかり奮闘して呉れ。俺達は陣中の勝敗に清想した遣返  
したガ、すぐ躍りあがつた。諸君の立場を行動が俺達を躍  
上らせただ。俺達はかりやほしい。真赤な胸に燃えたる労働者は、みな

労働組合同盟會

日本機織組合同盟會  
日本紙織組合同盟會  
日本針織組合同盟會  
日本縫製組合同盟會  
日本交通労働組合  
日本交友労働組合

ア ク マ デ ヤ レ

躍りあがつた。工場の中で、鉦山で、海で。聲を合さし、諸君の  
労働者として恥しくもない戦ひを希ひ叫んでゐる。一人の不幸は  
萬人の不幸な君等の安危は全労働者階級の安危にかゝる  
ところだ  
兄弟、しつかり戦む。死ぬまでやろう  
資本家の力量に對抗する労働者の行動は、心爲す防衛である

考へて呉れ!

兄弟!! 俺達は命がけて横暴な資本家と戦つて居るんだ。  
女房や子供まで飢と寒さと戦はせて居るの  
た。これは直接には、俺達の生命にかゝる  
大事だから戦つて居るんだ。けれど、俺  
達がコツビドクやられることは同時に君  
達がヒドイメにあはされることなんだ。全  
労働階級が苦しめられることなんだ。労働  
者なら、男子なり之の際、君達の取るべき  
道が分る筈だと思ふんだ。  
俺達は、何も多くは言はない。君達が君達の  
の自由意志によつて君達の此際とるべき道  
を胸に手を當てて考へてくれろと言ふだけ  
なんだ。

大正十一年十月二日

レバーター運動手  
ニ関スル件 (第五報)

ニ於テ交渉不調ニ終リ罷  
層業ニテ典論ヲ喚起シ飽  
込テ三越側ハ各運輸手ノ  
ヲ凌シ懃ゼザレバ戦首ノ  
ラズ對峙ノ状態トナレル  
警察署長ハ曩キニ宣傳ビ  
者ニ檢束セル数名ニツキ  
レ一方三越重役倉油誠文  
ヨリ其ノ眞意ヲ確メタル

言葉次長竹内泰次等